

聖学院大学同窓会 定期総会のご案内

以下の通り定期総会を開催します。
ご多忙とは存じますが、ご出席の程よろしくをお願いいたします。

日時：2026年10月31日(土)11:00～12:00

場所：聖学院大学2号館 2403教室
(当日会場の都合により変更となる場合がございます)

議案 ●2025年度活動報告 ●2025年度収支決算報告
●2026年度事業計画(案) ●2026年度収支予算(案)



※当日はヴェリタス祭開催中のため、お車でのご来場につきましてはご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

聖学院大学同窓会役員募集



聖学院大学同窓会では、活動にご協力いただける役員を募集しております。活動内容は2ヶ月に一回程度のペースで行われる定例役員会(都内にて)への出席、年1回の定期総会の開催、会報誌の発行、ホームページの運営等があります。活動にご興味のある方は同窓会公式ホームページ(<https://www.seig-dousou.com/>)の「お問い合わせフォーム※」からご連絡下さい。追ってご案内させていただきます(尚、お返事にお時間頂く場合がありますがご了承ください)。役員会の見学希望だけでも構いません。

※「投稿理由」欄で「その他」を選択し、「近況など」欄に「同窓会活動に興味がある」旨をご記入ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております



法人広報センターの卒業生紹介記事
<https://note.seig.ac.jp/m/m234a0dd3901d>



ご住所等を変更される場合には、同窓会公式ホームページのお問い合わせフォームより変更手続きをお願いいたします。



聖学院大学同窓会会報誌『クロスポイント』第36号

令和8年10月13日発行

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 聖学院大学同窓会事務局

E-mail dousou@seigakuin-univ.ac.jp

URL <https://www.seig-dousou.com/>



CROSS POINT

CROSS TALK

海を越えて、聖学院へ。
3人の留学生と語る、学び、暮らし、そして未来。

島田 大輔 / イ ティン ウィン / カク ギョクタク / グエン ティ ラン フオン / 湊 基悦
(同窓会会長) (ミャンマー) (中国) (ベトナム) (同窓会副会長)





海を越えて、聖学院へ。 3人の留学生と語る、 学び、暮らし、そして未来。



海を越えて、聖学院へ。



日本を選んだ理由は、 三人三様。

【島田】まずは皆さんの故郷について教えてください。

【カク】私の故郷、内モンゴルは乳製品と牛肉が有名です。とてもおいしいので、機会があったらぜひ食べてみてください。

【フオン】私はベトナムのハノイ出身です。観光なら中部のダナンがおすすめ。海も山もあって、食べ物も宿泊費も安いですよ。

【ウィン】私はミャンマーのヤンゴン出身です。自然が豊かで、食べ物もおいしいです。特にサラダがおすすめです。

【島田】そんな皆さんが、日本へ留学しようと思ったきっかけは？

【フオン】私は中学生の頃から日本のアニメが好きだったんです。『ドラえもん』『クレヨンしんちゃん』『名探偵コナン』とか(笑)。そこから日本語って素敵な言葉だなと思うようになりました。最初は親に反対されたのですが、日本で暮らすといくつか話を聞いて、母も認めてくれました。



「ここなら学べる」。 それぞれが感じた決め手。

【島田】日本の大学の中から、聖学院大学を選んだのは？

【フオン】日本語学校の友達とオープンキャンパスに来て、今のゼミの先生に出会ったことが大きかったです。「この先生に指導してもらえたら、なんとかなる」と感じました。今は言語学を学び、卒業研究では「留学生・外国人と方言の接触」をテーマに研究しています。

【カク】私は日本語学校の先生に勧められたのがきっかけです。大学のホームページで「一人を愛し、一人を育む」という教育理念を見て、とても印象に残りました。

【ウィン】私はオープンキャンパスに来たときに、留学生にとって温かい学びの環境があると感じて、この大学を選びました。

【フオン】ちなみに、そのとき留学生向けオープンキャンパスのスタッフをしていたのが私です(笑)。

【湊】ということは、入学前からつながっていたんですね。



いま、聖学院大学では多くの留学生が学んでいます。

生まれ育った国を離れ、なぜ日本へ。そして、なぜ聖学院大学へー。

今回、同窓会の島田大輔会長と湊基悦副会長が迎えたのは、

ベトナム、中国、ミャンマーから日本へ留学している3人の学生。

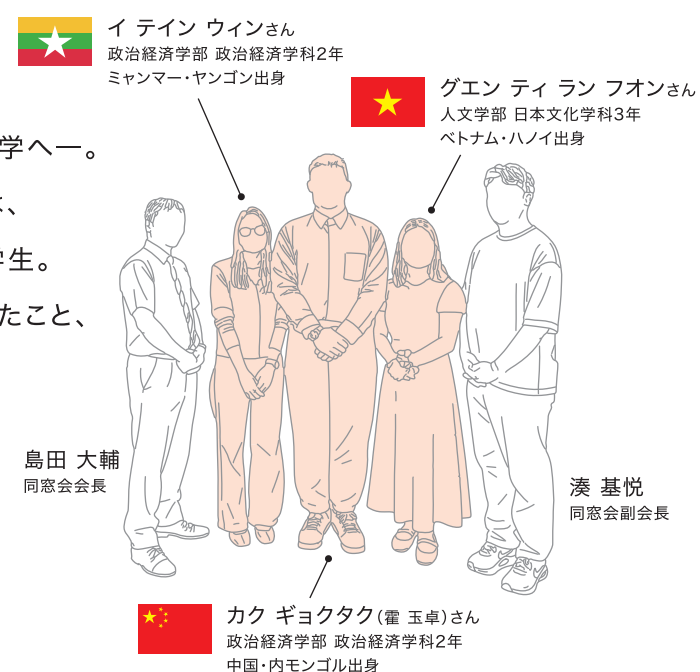
それぞれの故郷のこと、大学生活やアルバイト、日本で驚いたこと、

そして将来の夢まで、率直に語ってもらいました。

国や文化は違っても、話してみれば、笑ったり、悩んだり、

将来を思い描いたりする姿は私たちと変わりません。

母校の「いま」を生きる3人との座談会です。



聖学院大学は
あなたにとって
どんな学校？

学校は広くて
開放的で、
施設や設備も充実
しています。

4年間で聖学院大学
は専門知識を学ぶ
だけでなく、日本人と様々な国
や文化の人々と出会い、共に
日本語を学び、日本語を通じ
て異文化交流や自己研
究ができる素晴らしい場所
です。

自分を成長さ
せてくれる
学校。
♡

学んで、働いて、友達と笑って。



留学生の一日は、 なかなか忙しい。

【島田】普段はどんな毎日を過ごしているんですか？

【ウィン】私は大学の近くに住んでいて、朝9時から授業。遅い日は夕方6時半くらいまで大学にいて、その後アルバイトに行きます。今はコンビニと飲食店、2つの仕事をしています。

【カク】私は自転車通学です。授業の後、週2回くらいセブンイレブンでアルバイトをしています。もう2年くらい続けていて、今はサブリーダーになりました。

【湊】それはすごい。食事は日本食？ それとも中華料理？

【カク】どちらも食べます。大学の食堂もよく使います。カレーがおいしいです(笑)。

【フォン】私は卒業に必要な単位もだいぶん取れたので、空いている時間にアルバイトをしています。お弁当屋さんやホテルの宴会スタッフなど、いくつか掛け持ちしています。



卒業したら、多文化共生の分野で働いて、日本在住外国人の生活を支援する仕事をしたいです!!

卒業したら何をしたい？
何になりたい？

物流業界のグローバル企業で働きたいです。

卒業したら、駐日ベトナム大使館での仕事に挑戦したいと考えています。

違う国から来ても、 話す言葉は日本語。

【島田】3人は普段から仲がいいんですか？

【カク】フォンさんとは留学生のイベントでよく会います。ウィンさんとは1年生のときから同じ授業が多かったのです。

【ウィン】はい。いい友達です(笑)。

【湊】皆さん、何語で話すんですか？

【カク】日本語です。

【フォン】私は何語でも……、「いける」とまでは言えないですけど、最後はボディランゲージと気持ちで!(笑)。

【ウィン】ミャンマーからの留学生は少なくて、私が入学したときは私一人でした。今年は2人入学しました。

【島田】日本人学生との交流もありますか？

【カク】あります。先週もバスケットボールの授業で仲良くなった日本人の友達とカラオケに行きました。

【ウィン】言葉や文化は違いますが、みんなアジアの近い国から来ていますし、気持ちは同じだなと感じます。国籍はあまり関係ないですね。

暮らしてわかった、日本の「ふしぎ」。



「行けたら行きます」って、 来る？ 来ない？

【島田】実際に日本で暮らしてみて、「母国と違うな」と感じたことはありますか？

【ウィン】日本はルールやマナーが母国とはかなり違います。それから、気持ちをはっきり言わないところ。表情から気持ちを读むのも難しいですね。

【フォン】そうそう。「行けたら行きます」って、行くの？ 行かないの?(笑)。コンビニで「袋いりますか?」と聞いて「いいです」と言われても、いるのか、いないのか最初はわからなかったです。

【湊】「大丈夫です」もそうですね。どっちやねん! って(笑)。そういう僕も使っていますけど。

【カク】私は、日本の街にゴミ箱が少ないことに驚きました。中国では街中にたくさんあります。初めて日本に来たときは、ゴミをどこに捨てればいいのか分からず困りました。それに分別も厳しいですね。

子どものころの夢と今の夢

子どもの時、医者になりたい。
今はスクールカウンセラーを目指して頑張ります!

子供のころ、人を助ける仕事がしたいと思っていて、今は、自分の進路を決め、子どもたち一人一人に寄り添い、信頼される教師になりたいと思います。

子供のころの夢は教師になることでした。今の夢は、日本とベトナムの架け橋となる仕事や、経済的弱者に対する社会的弱者の困窮を救済することです。



この場所から、それぞれの未来へ。



日本で学んだ、 その先にある夢。

【島田】 皆さんは卒業後、どんな道に進みたいですか？

【フォン】 私は日本語教師を目指しています。今、日本語教員の資格を取るために勉強しています。卒業後は日本の日本語学校や日本語支援センターなどで働きたいと思っています。

【カク】 私はアルバイトの経験を生かして、将来はセブン-イレブンの本社で働きたいです。その前に大学院へ進学して、もっと深い知識を身につけたいと思っています。

【ウィン】 私も日本で就職したいです。そして、日本と母国ミャンマーの掛け橋になれるような仕事をしたいと思っています。

【島田】 将来、母国へ帰ることも考えていますか？

【カク】 本当は帰りたい気持ちもあります。両親が中国にいますから。でも、卒業してすぐ帰って何をするのかは、まだイメージできていません。だから当面は日本で頑張りたいです。

【フォン】 私は日本に来たときから、ここを自分の暮らしの拠点にしようと決めていました。もちろん家族に会うためにベトナムへ帰ったり、家族が日本へ遊びに来たりはします。でも、私の生活の場所は日本です。

📺 動画メッセージ「母校の先輩たちへ。」



同窓生の皆さん、いつも聖学院大学を支えてくださり、ありがとうございます。私もこれから大学で多くのことを学び、頑張っていきます。これからもよろしくお願いします。(カク)



私は「一期一会」という言葉を大切にしています。人生には出会いがあれば別れもあります。だからこそ、その瞬間、その出合いを大切にしていきたいです。(ウィン)



私たちも、卒業生の皆さんと同じように、立派な社会人になれるよう頑張っています。そして、ぜひヴェリタス祭にも来てください！(フォン)

チーム留学生センターも出展します！ベトナムのフォーや中国のマーラータンなど、いろいろなメニューを用意してお待ちしています。



動画全編



対談記事全編



動画の閲覧は会報誌記載のIDとパスワードをご入力ください

2026年度第39回ヴェリタス祭のご案内

第39回ヴェリタス祭は、2026年10月30日(金)、10月31日(土)の二日間にわたって開催されます。同窓会では卒業生同士の親睦および交流の場として、10月31日(土)に2号館4階にてティールームをオープンいたしますので、ご休憩・ご歓談の際には是非お立ち寄りください。皆さまのお越しをお待ちしております。



2025年度活動報告

少人数からの脱却と「伴走型」への転換で挑む、新しい同窓会運営

現在、同窓会役員会は実質7名で運営されており、従来の枠組みのまま新しい試みを増やすことには限界があります。最大の課題は「同窓会が何をしているか見えない」という**認知度の低さ**にあります。

この状況を打破するため、まずは活動の「視覚化」に着手しました。会報誌への**動画コンテンツ導入**(左ページ二次元コード参照)を皮切りに、今後はHP改修やSNS運用も視野に入れ、多角的な情報発信を進めます。

また、活動スタイルも従来の資金援助中心から、**現役生と顔の見える「伴走型支援」へ転換**します。ヴェリタス祭やグラデュエーションパーティーの企画・運営に直接携わるほか、大学内各部署との連携を強め、在学中から頼れる「社会人の先輩集団」としての存在感を確立します。

新メンバー募集においては、**特定の個人へ依存しない組織づくり**を目指します。ヴェリタス祭でのオープンな休憩スペース設置や、個々の経験に応じた具体的な役割分担を通じて参加のハードルを下げ、**負担軽減と仲間作り**を両立させます。

7名での小さな一歩ですが、地道な発信と交流を通じ、誰もが立ち寄れる温かい組織を目指します。皆様のご支援とご参画を心よりお待ちしております。



2025年

11月

第38回ヴェリタス祭

2025年10月31日(金)、11月1日(土)の2日間にわたって、第38回ヴェリタス祭が開催されました。同窓会では1日(土)に2号館4階2403教室にて卒業生の親睦、交流の場としてティールームをオープンし、多くの卒業生にご来場いただきました。ティールームではソフトドリンクやお菓子の提供の他、歴代の卒業アルバムも用意しました。来場された方々は、卒業アルバムのページをめくりながら、近況の報告や思い出話に花を咲かせていました。また7号館7101教室において、定期総会を開催しました。議事次第および議事録は聖学院大学同窓会の公式noteにて公開しています。
(https://note.com/seig_dousou/)



2026年

6月

集中会議

2026年6月6日(土)に赤羽にて集中会議を実施しました。会報誌の内容決めや今後の学生支援の在り方について、また同窓会会則を時代や社会情勢に合わせた内容へと変更することについて検討しました。

